

系	統	カーボン繊維積層ガラスマット混入不飽和ポリエステル樹脂成型板		
特	長	1) 表面に100 μ mのビニルエステル樹脂コーティングを施しており、卓越した耐酸性を有している。 2) 表面が平滑で、水の流下能力が向上する。 3) 600g/m ² 目付のカーボン繊維を短冊状に積層してあり、補強性(一方向性)がある。 4) 隣接したカーボン繊維との間に透明部分を設けることによって、裏込め注入材の注入状況が確認できる。		
用	途	下水道防食被覆用シートライニング材 「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル」 (平成14年12月) D ₂ 種適合		
外	観	性状	黒色、5mm幅の透明部分有り(裏面サンディング処理)	
寸	法	厚さ4mm(標準)×幅350mm、500mm、1000mm×長さ任意		
比	重	1.45(測定値)		
使	用	方	法	1) 現地躯体形状に合わせて割付を決定し、墨出しする。 2) PSファスナーの貼付位置を躯体およびPSシートに墨出しする。 3) 割付にしたがって、PSシートを裁断する。 4) PSシート中央部に500mmピッチで注入孔を削孔する。 5) PSシートとPSシートの取合部周辺(目地部、出隅部、入隅部)は、PSシールを貼るので、サンドペーパー等により、目荒らし処理を行う。 6) 躯体およびPSシートの墨出しした位置にWBシールを用いてPSファスナーを貼る。 7) WBシールの硬化後、PSファスナーのコンクリート躯体側にWBシールを擦り付ける。 8) PSファスナーに塗布したWBシールが硬化する前に、木槌等で叩きながら、所定の位置にPSシートを取り付ける。 9) WBシールが硬化した後、WBグラウトGを注入する。
使用上の注意		1) 施工面が曲面の場合、注入厚、シート厚を考慮して割付を行う。 2) 目荒らし処理を行う場合、PSシール貼付箇所以外を損傷させないように、養生を施す。 3) PSシートの取付時、木槌により打撃を与える際は、ゴム板等をあて、表面を傷つけない。 4) 切断、削孔等の作業は、ヤード等の作業性の良い箇所で行い、電動工具を使用する際は、皮手袋、保護メガネを着用する。 5) 樹脂使用の際は、ゴム手袋等の適正な保護具を着用し、火気等を近隣で扱わない。		